

実に7年ぶりの来日となる東欧の名門
ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団を率いて
首都圏では鎌倉だけの共演、
鎌倉だけのプログラムで、実現！

衰え知らずの熱量で世界を魅了
炎のコバケンによる「新世界より」

世界最高峰、
ルツェルン祝祭管のソリストにも抜擢
世界のマオによる「皇帝」



©Dovile Semokas

©山本倫子

©Hargitay Olivér

小林研一郎(指揮)

“炎のコバケン”の愛称で親しまれる日本を代表する指揮者。東京藝術大学作曲科、及び指揮科の両科を卒業。1974年 第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第一位、及び特別賞を受賞。2002年ブラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。

これまでにハンガリー国立フィル、チェコフィル、アーネムフィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドンフィル、ハンガリー放送響、N響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。

ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功勞勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に「指揮者のひとりごと」(日本図書協会選定図書)等がある。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ロームミュージックファンデーション評議員等を務める。

◎オフィシャル・ホームページ:

<http://www.it-japan.co.jp/kobaken>

藤田真央(ピアノ)

2019年6月チャイコフスキー国際コンクールで第2位を受賞。2017年には18歳で、第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクール優勝。併せて「青年批評家賞」「聴衆賞」「現代曲賞」の特別賞を受賞。

2019/2020シーズンは、ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団と共演しロンドン・デビュー。同団日本公演では、急な代役としてチャイコフスキー:ピアノ協奏曲第2番を演奏し、多くの聴衆を魅了。

これまでにヴェルビエ音楽祭、ルール音楽祭、ナントのラ・フォル・ジュルネ、ジョージアのツィナダリ音楽祭、リガのユールマラ音楽祭などに参加。21年夏のヴェルビエ音楽祭での《モーツァルト:ピアノソナタ全曲演奏会(5回)》はmedici.tvを通じて世界中に放映され、大きな注目を集めた。

2021/2022シーズンは、ミュンヘンでゲルギエフ指揮ミュンヘン・フィル、エルサレムでエッシェンバッハ指揮イスラエル・フィル、ロンドンでワシリー・ペトレニコ指揮ロイヤル・フィルなどと共演、2022年3月シャイー指揮スカラ・フィルとの共演でミラノ・スカラ座にデビュー。今夏はシャイー指揮ルツェルン祝祭管との共演にてルツェルン音楽祭にデビューのほか、ラ・ロック=ダンテロン国際ピアノ・フェスティバル、ヴェルビエ音楽祭に出演した。国内でも大野和士指揮東京都交響楽団と共演するほか、3年5回にわたり行う《モーツァルト:ピアノソナタ全曲演奏会》を日本各地で継続中。

1998年東京生まれ。東京音楽大学卒業。ロームミュージックファンデーション奨学生。江副記念リクルート財団第49回奨学生。第21回ホテルオーケストラ音楽賞、第30回出光音楽賞を受賞。2021年11月ソニークラシカルと専属レコーディングのワールドワイド契約締結を発表し、2022年9月モーツァルト:ピアノソナタ全曲集をリリース。

ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団

ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団は、90年以上に渡ってハンガリーを代表するオーケストラのひとつであり続けている。

ヤーン・シュ・フェレンチク、小林研一郎が活躍した時代に続く、1997年のゾルターン・コチシュの総音楽監督就任は、同団の歴史の新しいページを開いた。

この20年近くで同団はリニューアルを経験し、国立管弦楽団の名にふさわしい多様性を身につけ、クラシックのみならず、それ以前にはレパートリーに入っていなかった近代と現代のハンガリーの音楽を含む多数の重要な曲を演奏し、人気の高い室内楽コンサートや青少年のための催しも行っている。

ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団はリヒャルト・シュトラウス、ドビュッシー、シェーンベルク、ラヴェル、ラフマニノフの作品を、いくつかの意欲的な空隙充填プロジェクトで演奏しており、重要なことに、20世紀と21世紀の現代ハンガリー音楽の運動を推進する。バルトーク作品は特に同団のレパートリーの重要な位置を占め、多くの権威ある解釈が「バルトーク・ニュー・シリーズ」の枠で録音されている。ドビュッシー、ラフマニノフ、バルトーク作品のゾルターン・コチシュによるピアノ編曲は、人気を博している。

定期演奏会には世界的な有名ソリスト、指揮者、そしてハンガリーの才能ある若手音楽家がゲスト出演する。これまでに同団が出演した著名コンサートホールと音楽祭をあげると、ニューヨークのエイヴリー・フィッシャー・ホール、東京のサントリーホール、バーミンガム・シンフォニーホール、アテネのメガロン、ブリュッセルのボザールセンター、ルーマニアのエネスク・フェスティバル、コルマル・フェスティバル、カナリア諸島フェスティバルがある。この15年の間、同団は40数カ国で300回以上の公演を行っており、フランス、日本、ドイツ、ルーマニア、スペイン、スロバキア、スロベニアには繰り返し訪れている。

子供文化芸術活動支援事業対象公演

本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響下において、鑑賞・体験の機会が失われている多くの子供たちに、本格的な公演に触れる機会を提供するため文化庁の支援を受けて行われる取り組みです。

◎18歳以下無料(限定150席)

◎対象:公演当日、小学校1年生~18歳以下

◎申込方法等詳細は神奈川県芸術協会ホームページの当公演ページにて、10月以降公開いたします。